

十二金剛

発行日 令和 3年12月15日 (第85号)
発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
〒028-0115
花巻市東和町安俣6区53番地
TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

2年ぶりの資源回収で地域をクリーンに

六本木子供会が早朝作業



7月25日午前6時30分、六本木子供会のみなさんがグリーンヒルズ広場に集合。コロナ禍で2年ぶりに資源回収作業を再開しました。現場にはすでに各戸から回収されてきた新聞紙、チラシ、雑誌、段ボールがいっぱい。保護者役員さんの指示で作業内容が説明されているなか、軽トラックが次々に回収品を積んで到着。大きなビニールシートも回収品でたちまち埋まってしまった。梱包したひもがほどけてバラバラになったチラシ、雑誌をしっかりと梱包しなおす親子もいる。なかには漫画本をペラペラめくり読みたそうにしている子も。

ほどなく廃品業者の4トントラックも到着。「さあ、みんなでトラックに積んでね」役員のかげ声が飛ぶ。子供たちは重そうに雑誌、新聞を抱え、手際よく次々と手渡ししながらトラックに積載。ビニールシート上の回収品はあっという間になくなってしまった。

参加した子ども達の声。「暑くて重くて運ぶのがたいへんでした」(火煙雛季さん6年生)。「前回よりちょっと少ないかなと思いました」(笹山あきさん6年生)。お互い笑顔で額の汗を拭っていました。作業の終了後は、全員で集合写真をパチリ。「やったぜ！」なんともにぎやかな朝の資源回収作業でした。



〈 文責 土沢第九行政区 佐々木 〉

土沢地区の人口と世帯数

令和3年10月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1(新地・百ノ沢)	131	184	196	380	0	1	0	0	2	2
土沢第2(鎚町)	147	150	182	332	0	0	0	0	3	3
土沢第3(中町・下町)	154	174	191	365	0	0	10	3	8	11
土沢第4(駅前・上町)	184	185	222	407	1	2	8	4	5	9
土沢第5(前郷・八日市場)	136	177	195	372	0	0	0	1	0	1
土沢第9(六本木)	257	301	351	652	0	0	5	5	1	6
合計	1,009	1,171	1,337	2,508	1	3	23	13	19	32

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

勝敗分けた…スティックボール

第11回土沢地区スポーツ交流会

11月14日（日）77人が参加し、土沢地区スポーツ交流会を開催しました。

行政区ごとに対抗心を燃やし、白熱した戦いが繰り広げられ、1点差で土沢第9行政区が逆転勝ちしました。

【総合成績】

総合優勝 土沢第9（六本木）
総合準優勝 土沢第2（鎗町）
第3位 土沢第1（新地・百ノ沢）



手作り味噌教室

場 所：東和コミュニティセンター

日 時：令和4年1月25日（火）

9：30～11：30

材料代：2,000円

（味噌4kg）

持ち物：エプロン・三角巾・マスク

※詳細は12月15日配布のチラシをご覧ください。

※土沢地域づくり会議42-3255までお電話でお申込みください。

【種目別第1位】

シャフルボード9m 土沢第5（前郷・八日市場）
シャフルボード12m 土沢第2（鎗町）
スカットボール 土沢第9（六本木）
ニチレクボール 土沢第3（中・下）
スティックボール 土沢第9（六本木）

ふる歴コーナー

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介します。

〈展示パネル引用〉

東和の城館 中世

どくさわじょう 毒沢城

毒沢氏は、和賀政義の三男盛義が、南北朝時代の貞治5年（1366）頃に、毒沢に分知されてから始まるという。天正18年（1590）の和賀・稗貴一揆では、毒沢伊賀守一忠が鳥谷ヶ崎城攻めに参加している。慶長6年（1601）の岩崎城籠城戦では一忠の嫡男義森が参戦し、翌年、和賀忠親とともに伊達領に逃げ込み、結局陸奥国分尼寺で自害している。しかし、義森の嫡男吉広は、伊達氏の家臣となって姓を只野と改めている。その後、孫の勝女姫が伊達政宗の側室となり一男をもうけ、伊達騒動の原因となっている。

毒沢城は、南北に延びる丘陵頂部に築かれた山城である。主体部となる山頂部は東西60m×南北100mの規模で整地されている。主郭の切岸は見応えがあるが、平坦部は狭く、東西50m×南北30mの規模で、東西二段に分かれている。主郭の周りは同心円状に数段の幅広い帯郭が造られている。北西、南西、東側の尾根続きには、数段の帯郭と空堀や土塁などによって複郭を構築して防御を固めているが、南東側の郭は登山道路を造ったためか、やや崩れている。北東側の尾根には、数段の帯郭が築かれた比較的規模の大きな郭があり、これが二の郭の役目を果たしていると思われる。大手口は、現在登山道路が整備されている北東側、あるいはやや緩斜面となっている南東側からのルートが考えられる。